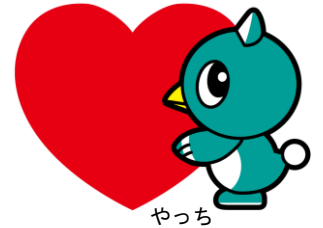


令和2年度 八千代市いのち支えるまちづくりプランの取り組み

(令和3年3月末現在)

「誰も自殺に追い込まれることのないまちづくり」の実現をめざして

八千代市では、平成31年1月に策定した「八千代市いのち支えるまちづくりプラン(自殺対策計画)」に基づき、社会的孤立や生活苦等の「生きることの阻害要因」を減らすという視点と、自己肯定感や信頼できる人間関係等の「生きることの促進要因」を増やすという視点より取り組みを推進します。



1. 八千代市ホームページ「新しい生活様式」と「こころの健康づくり」のページ開設

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外出自粛等の生活の変化や先の見えない状況から不安やストレスの高まりが課題となりました。

「新しい生活様式」に対応したこころの健康づくりとして電話、SNS(LINE, チャット, ツイッター等)を利用して相談できる窓口を市ホームページやリーフレット等を活用し、ご紹介しました。

(八千代市 HP)

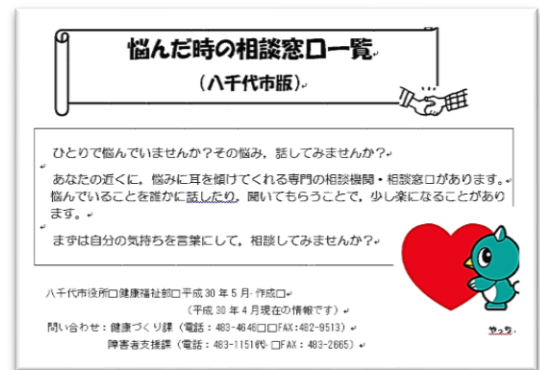
「新しい生活様式」と「こころの健康づくり」



←SNS・電話等による心の相談はこちら

2. 「悩んだ時の相談窓口一覧(八千代市版)」の配布

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、様々な部署で市民の相談を受ける機会が増えました。そのため、「こころの健康」「生活面・経済面」「子育て」等、悩みの種類に応じた相談窓口を紹介するリーフレットを、庁内の12部署から相談に係る23部署へ拡大し配布しました。また、地域の身近な相談役である民生委員・児童委員へ配布しました。



3. ゲートキーパー養成講座の開催

コロナ禍の今だからこそ、悩みを抱えている人に「気づき・声をかけ・話をきいて・必要な支援につなげ・見守る」ことができる「ゲートキーパー」を地域に増やす取り組みを推進しました。

感染予防に留意しながら、地域の方々の相談役である社会福祉協議会の支会福祉委員や、各種相談窓口部署等の職員向けの養成講座を実施しました。

講師：東京成徳大学 健康・スポーツ心理学科 教授 石崎一記 氏



	日時	対象	
(1)	令和2年9月16日(水)13:30~15:30	八千代市社会福祉協議会 支会福祉委員・ボランティア等	20名
(2)	令和2年11月18日(水)15:15~17:15	八千代市職員	24名